地域支援事業委員会立ち上げ

目的

地域で
安心した生活を送る

地域の
力を引き出していく

認知症高齢者

徘徊捜索模擬訓練

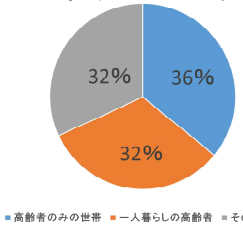
	伊豆の市	長岡地区
人口	49，000人	14，000人
高齢化率	31．4%	31．9%

高齢者のみの世帯増

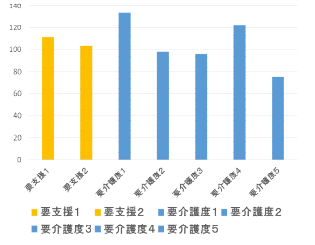
介護認定を受けている7割が認知症

65歳以上の12人に1人が認知症

長岡地区（6659世帯）
1世帯あたりの人数



長岡地区（65歳以上）
約4700名
要支・介護認定者数（741名）



事　業　所

地　域　住　民

訓練実施までの流れ

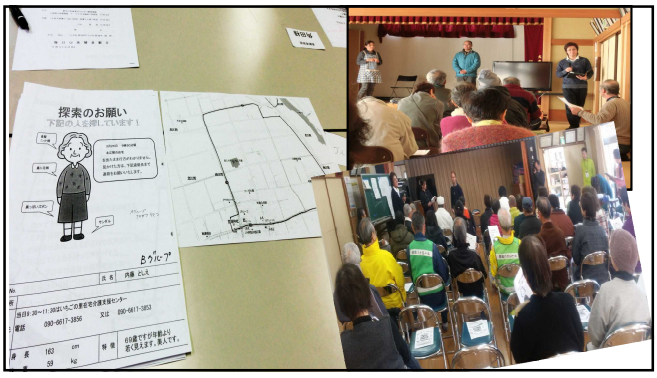
1. 訓練内容の検討と想定地区の選択
2. 対象地域区長様への説明
3. 自治会3役への説明と日程調整・徘徊ルートの検討
4. 自治会への説明と参加協力依頼
5. 各専門職（事業所）、店舗等への協力依頼
6. 回覧版の作成、地域住民への周知
7. 役割分担
8. 最終打ち合わせ・訓練内容の確認
9. 実施

活動協力者

- 自治会
- 民生委員
- 地区子供会 ・ PTA
- 介護保険事業所職員
- サロン代表者
- 地域消防団
- 交番警察官
- 地域包括支援センター

当日役割り分担

- 司会
- 講師
- 寸劇
- 捜査班付き添い
- 認知症徘徊高齢者(2名)
- ダミー役（2名）
- 本部待機



結　果

（1） 見た目だけでは、認知症で徘徊されている方か分からなかった
（2） 声掛けの仕方・対応方法が難しかった
（3） 日常では気づけない町の様子に気づけた
（4） 家族・地域の支え合いの重要性に気づけた
（5） 地域力発揮のきっかけ作りの場となった

考　察

（1） 本人確認できる物を身に付けておく
（2） 見た目の特徴だけでなく、情報が多いほど接しやすい
　　後ろから声を掛けない
　　集団で囲まない
（3） 通行車両・危険個所が多い
　　外に人の姿がまばら
（4） 早期発見が、大きな事故を防げる
（5） 地域住民の協力体制の再確認ができ、リーダシップの重要性が分かった

まとめ

（地域ぐるみで支え合う「結輪」を当たり前のことへ）

ご清聴ありがとうございました